

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額409億6,700万円に対し決算額415億7,864万円（執行率101.5%）で6億1,164万円の増となった。主な内訳をみると、広告料が、予算に比べ6,889万円減少している一方で、収益的収入の約8割を占める運輸収益（乗車料収入）が、予算に比べ5億8,884万円増加している。

収益的支出は、予算現額407億1,900万円に対し決算額383億2,366万円（執行率94.1%）となっている。差額23億9,533万円のうち、779万円が翌年度への繰越額で、残り23億8,754万円が不用額となっている。これは、退職給付費の減による人件費の減及び契約差金等による修繕費の減に伴い経費が減少したことなどによるものである。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額229億4,405万円に対し決算額188億2,178万円（執行率82.0%）で41億2,226万円の減となっている。これは、建設改良費の繰越し等による減に伴い、その財源となる企業債、出資金及び国庫補助金等が減少したことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額368億2,089万円に対し決算額328億6,922万円（執行率89.3%）となっている。差額39億5,166万円のうち、17億2,230万円が翌年度への繰越額で、残り22億2,936万円が不用額となっている。これは、主に建設改良費の減によるものである。

資本的支出のうち、建設改良費は予算現額150億4,589万円に対し決算額111億1,741万円（執行率73.9%）となっており、主な内訳は次のとおりである。

・南北線シェルター耐震改修工事	18億8,538万円
・東豊線信号保安装置更新工事（大通・豊水すすきの）	7億1,161万円
・南北線電力管理システム更新工事	6億9,260万円
・東札幌変電所整流器ほか変電設備更新工事	6億6,415万円
・東西線防災集中監視装置更新工事	4億1,510万円
・旅客案内放送設備更新（南北線・東西線）	3億9,718万円

企業債償還金は、217億5,181万円で、資本的支出の66.2%を占めている。

当年度決算における資本的収入額が資本的支出額に不足する額140億4,744万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額10億707万円、繰越工事資金484万円及び当年度分損益勘定留保資金等130億3,553万円によって補填されている。